

東京グリーンボンド(外貨)

あなたの資金が、東京の環境と未来をまもります。

通貨

期間

利率

豪ドル

5年

年4.06% [税引後3.235%※]

豪ドル建て
(税引前)、
30/360ベース

※税引後の利率は、20.315%の税金が差し引かれた利率であり、小数点以下第3位未満を切り捨てて表示しています。

売出期間

2023年12月8日(金) ~ 2023年12月19日(火)

※市場環境等の変化により発行予定が変更になる場合がございます。

ご購入にあたっての主なリスク・手数料等・ご留意事項について

主なリスクについて

本債券の価格は、市場の金利水準等の変化に対応して変動しますので、償還前に換金される場合には、損失が生じるおそれがあります。為替の変動により当初お買付の為替水準より円高豪ドル安となる場合、本債券を円換算した価値が投資元本を割り込むことがあります。発行体である東京都の信用状況、業務または財産の状況の変化等により、本債券の価値が変動することがあり、また、元本や利子のお支払いが滞ったり支払不能となるリスクがあります。

手数料等について

本債券をご購入される場合は、購入対価のみお支払いいただくことになります。本債券を取扱金融機関でお預かりする場合には、外国証券取引口座の開設が必要になります。なお、お預かりに係る料金の有無は各取扱金融機関によって異なります。本債券のお取引に係る決済(購入代金のお支払い、中途売却代金のお受け取り、利金および償還金のお受け取り)にあたり、円貨と外貨を交換する際には、外国為替市場の動向をふまえて取扱金融機関が決定した為替レートによるものとします。

ご留意事項について

本債券のご購入を検討される際には、「契約締結前交付書面」をあらかじめお渡しいたしますので、必ずご覧ください。売出期間前においても、商品内容に関するお問い合わせやご購入希望等がございましたら各取扱金融機関へご連絡ください。販売額に限りがございますので、売り切れの際はご容赦ください。

ご購入対象者について

本債券をご購入いただけるのは、東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県に在住または在勤・在学の個人の方、同エリア内に主たる事務所・事業所を有する法人・団体です。未成年の方が購入する場合は、親権者の同意等の手続が必要となりますので、詳細は各取扱金融機関にお問い合わせください。

額面1,000豪ドルから
ご購入いただけます

額面1,000豪ドルから50万豪ドルまで1,000豪ドル単位でご購入いただけます。

本債券に関する税金について

個人のお客さまの場合

●特定公社債は、利金、売買損益、償還差損益とも、申告分離課税の対象となります。



(注1) ブルームバーグ (AUD JPY BGN Currency HP) ページに表示される為替レート

(出所) Bloomberg

(注2) 上記グラフは過去の実績であり、将来の為替相場を保証するものではありません。

取扱金融機関一覧

商号等	登録番号	日本証券業協会	日本投資顧問業協会	金融先物取引業協会	金融商品取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会	電話番号
大和証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商) 第108号	○	○	○	○	○	0120-010101
野村証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商) 第142号	○	○	○	○	○	0570-077-000
みずほ証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商) 第94号	○	○	○	○	○	0120-324-390
三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商) 第2336号	○	○	○	○	○	0120-532-346
SMBC日興証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商) 第2251号	○	○	○	○	○	0120-250-438

本売出しは、東京都によって行われるものではなく、上記の取扱金融機関によって行われるものです。
○印: 加入している協会

太陽光発電設備の導入



防潮堤の整備



海の森公園(海上公園)整備



これらは、今年度発行する「東京グリーンボンド」の充当予定事業の一例であり、第三者機関から「国際資本市場協会 (ICMA) の定めるグリーンボンド原則に適合」との評価を受けています(写真はイメージです)。

売出要項

ご購入対象者

東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県に在住または在勤・在学の個人の方、同エリア内に主たる事務所・事業所を有する法人・団体

未成年の方が購入する場合は、親権者の同意等の手続が必要となりますので、詳細は各取扱金融機関にお問い合わせください。

売出価格

額面金額の100.00%

受渡期日

2023年12月20日(水)

利払日

年2回/6月・12月の各20日
(休日の場合は翌営業日)
初回利払日は2024年6月20日です。
※利金の国内でのお支払いは、原則として利払日の翌営業日以降となります。

償還日

2028年12月20日(水)
※償還金の国内でのお支払いは、原則として償還日の翌営業日以降となります。

申込単位

1,000豪ドル以上1,000豪ドル単位

ご購入限度額

お一人さま/一団体あたり50万豪ドル

「東京グリーンボンド 個人向け」で検索

東京グリーンボンド 個人向け

検索

ご購入者様に抽選で
ノベルティをプレゼント致します。

※詳細はご購入者様宛てに別途お知らせします。

みどりと生きるまちづくり
TOkyo GREEN BIZ

太陽光発電設備の導入

事業の環境効果

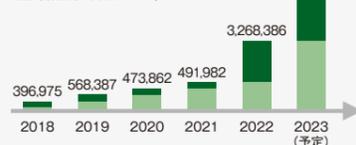
再生可能エネルギー使用量
(2023年度予定)

約**512**万kWh

(一般家庭 約1,200世帯分の消費電力(年間)に相当)

これまでの取組

■ 新規分 (単位: kWh)



整備予定箇所 練馬特別支援学校、丸の内警察署、清瀬消防署、三宅庁舎(島しょ地域)など

SDGsへの貢献



概要

- 東京都は、気温上昇を1.5℃に抑えることを追求し、2030年までにカーボンハーフ、2050年までにCO₂排出実質ゼロを目指しています。
- 都内CO₂排出量のうち、「建物」からの排出が約7割を占め、CO₂を排出しない太陽光等の再生エネルギーの活用を都有施設にて積極的に推進しています。

ゼロエミッション・ビークル(ZEV)の導入

事業の環境効果

従来車両からZEVに更新することによるCO₂等排出削減率

PHV(プラグインハイブリッド車) CO₂削減率
20.1%減

EVバイク
排出ガス ゼロ (100%減)

これまでの取組

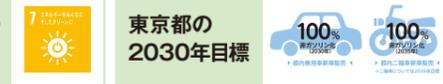
2022年度
PHV ……5台導入済
EVバイク…48台導入済

2023年度(予定)
PHV ……5台導入
EVバイク…135台導入



整備予定箇所 PHV ……臨港消防署ほか4署
EVバイク ……高輪消防署ほか62署

SDGsへの貢献



概要

- 走行時にCO₂等の排出ガスを出さない電気自動車(EV)やプラグインハイブリッド自動車(PHV)等をゼロエミッション・ビークル(Zero Emission Vehicle)と呼びます。
- 都内CO₂排出量のうち、「運輸部門」の排出は約2割を占めており、CO₂等排出削減のため、東京都は率先して庁有車や都有施設における車両のゼロエミッション化を進めています。

緑化整備

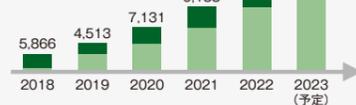
事業の環境効果

緑化面積 (2023年度予定)

約**10,288**m²

これまでの取組

■ 新規分 (単位: m²)



整備予定箇所 小台橋高等学校 光明学園 など

SDGsへの貢献

概要

- 東京都では都有施設の改築や改修を行う際、屋上や壁面の緑化整備を実施しています。
- 屋上や壁面の緑化を推進することにより、ヒートアイランド現象の緩和、ビルの省エネルギー、大気浄化などの効果を発揮しています。
- 日常的な緑とのふれあい、鳥や昆虫を呼び戻すことによる自然性の回復等の効果が高まるとともに、二酸化炭素の吸収量の増加により地球温暖化対策への貢献ができます。

海の森公園(海上公園)整備

事業の環境効果

整備面積 (2024年度未予定)

森づくりエリア **58**ha

(東京ディズニーランド1個分とほぼ同じ大きさ)



概要

- 東京都は、都民が海や自然と触れ合い、スポーツやレクリエーションの場となる海上公園の整備を進めています。
- 海の森プロジェクトは、東京港の中心部に浮かぶごみの島を、『資源循環』『協働』という2つのコンセプトに基づき、都民参加により美しい森によるみえらせる計画です。
- 周囲の海を活かし、自然や緑に親しむ公園として、緑の創出・保全を行うことにより、CO₂削減やヒートアイランド現象緩和に繋がっていきます。

整備予定箇所	SDGsへの貢献
海の森公園(海上公園)	11 持続可能な都市とコミュニティ

調節池の整備

事業の環境効果

整備中の調節池の貯留量合計 (2025年度未予定)

約**110**万m³

(25mプール約3,600杯分)



概要

- 東京都では、激甚化・頻発化する豪雨時に増水した河川の水を一時的に貯留し、河川からの溢水を防ぐため、調節池の整備を推進しています。
- 「令和元年東日本台風」の際、神田川・環状七号線地下調節池にて総容量の約9割の49万m³を貯留し、調節池の下流地点で最大1.5m(推測)の水位を低下させるなど、水害の未然防止に大きな効果を発揮しました。
※ 25mプール約1,600杯分

整備予定箇所	SDGsへの貢献
環状七号線地下広域調節池(石神井川区間) 城北中央公園調節池(一期) など	3 気候変動への適応 11 持続可能な都市とコミュニティ 13 気候変動への対応

防潮堤の整備

事業の環境効果

東京港の防潮堤の整備延長
(2031年度未予定)

約**60.4**km

これまでの取組

2022年度末

58.1Km



概要

- 東京都は2023年3月、「東京湾沿岸海岸保全基本計画[東京都区間]」を改定し、地震や台風に対する安全性を確保するため、海岸保全施設の耐震・耐水化対策等を推進しています。
- 気候変動の影響による海面上昇*や台風の強大化に伴う波浪の増大等への対応を図るため、防潮堤の嵩上げを段階的に実施しています。
※東京周辺の沿岸域の平均海面水位は、21世紀末に約0.6m上昇すると推定

整備予定箇所	SDGsへの貢献
東雲二丁目(東部地区)、勝どき五丁目(中央地区) など	3 気候変動への適応 11 持続可能な都市とコミュニティ 13 気候変動への対応